

岡山エフエム放送社長賞

動画の中のおじいちゃん

倉敷市立連島神亀小学校

三年生 渡辺 奏介

「お母さん、けいたいかして。」

と、ぼくが言ったら、お母さんは、

「え、またかりるん。もう、やめて。さっきもかしたばっかじゃん。」

と言いました。ぼくは、お母さんのけいたいでゲームやSNSをよく見るから、お母さんがダメと言ったんだと思います。だけど、ぼくが一番見たいのは、お母さんのけいだいに入っている写真や動画です。弟や妹のおもしろい写真や、ぼくがかつやくしている運動会やじゅう道の動画などを見るのが好きです。でも、その中で一番大事にしている動画があります。それは、おじいちゃんが、

「また、近いうちに会えるからな。楽しみにしとくわ。」

と言った動画です。ぼくは、その動画を見るのが大好きです。

ぼくのおじいちゃんは、生き物が好きです。ぼくが、幼稚園の年少のとき、いっしょにセミをとりに公園に行きました。アミを持って、セミをおいかけても、セミはとれません。しかし、おじいちゃんは、ひよいっと手でセミをつかまえて、虫かごに入れてくれました。

ぼくが年長のときは、おじいちゃんはメダカをいっぱいかっていたので、

「ぼくもメダカをかいたい。」

と言うと、何十ぴきかくれました。育てるのは、かんたんかと思っただけ、エサをあげても、全て死んでしまいました。

「エサのあげすぎじゃ。水がくさるで。」

と、おじいちゃんが教えてくれました。

生き物にはやさしいおじいちゃんだけど、ぼくには、ちょっとこわいおじいちゃんでした。あまりしゃべらず、めったにわからないからです。おこっているわけじゃないとおばあちゃんは言うけど、ずっとおこっているように感じていました。そして、

「こりゃ。なんしょんなら。」

と、大きな声で言うので、やっぱりこわくてぼくから近づかないようになっていきました。

ぼくが小学二年生の春休み、ひさしぶりに、おじいちゃん、おばあちゃん、家族で遊びに行きました。行き先は、つりぼりでした。ひさしぶりにおじいちゃんに会うと、少し小さくなった気がしました。でも、ぼくが大きくなったんだと、あまり気にしませんでした。

「なかなかつれん。」

ぼくが言うと、

「魚がいる回りに、つりざおの糸をゆっくりしずめてまっていればつれるんじゃ。」

と、おじいちゃんが教えてくれました。ぼくは一ぴきもつれていないのに、おじいちゃんは三ぴきもつり上げています。ぼくは、おじいちゃんに教えてもらったとおりに、糸をゆっくりしずめると、

「やった。つれた。」

やっと一ぴきつることができました。つりたての魚はお店の人が塩やきとからあげにしてくれました。ほねまでやわらかくて、

ぼくは、四ひきも食べました。おじいちゃんは、二ひきだけ食べました。とっても楽しかったので、

「今度は、海に行つてつりをしよう。」

と、ぼくが言うと、

「おじいちゃんは、つりの名人じゃけん、いっしょに行けば良いが。」

と、お母さんが言ってくれたので、とてもうれしくて、おじいちゃんと海でつりをする約束をしました。

ぼくが二年生の十二月。おじいちゃんのたん生日会をしました。おじいちゃんの大好きなピザを食べて、ぼくのひくピアノに合わせてたん生日の歌を歌いました。おじいちゃんは、

「ありがとう。」

とよろこんでくれました。ぼくは、うれしくてにやにやしていました。

おじいちゃんのたん生日から二週間後。おじいちゃんは天国へ行つてしまいました。お母さんから、おじいちゃんが病気だったこと、病気でご飯が食べられず、やせていた事を聞きました。ぼくは、かなしくなって泣きました。

ぼくは、おじいちゃんと海に行つてつりをするやくそくをし

ていたけど、もういっしょに行くことはできません。セミのつかまえ方も教えてもらえません。メダカの育て方も、わかりません。もっともつと、おじいちゃんに教えてもらいたかったです。少しこわかったけど、やさしいおじいちゃんでした。二度とおじいちゃんに会えないんだと、かなしい気持ちでいるとき、ぼくはお母さんのけいたいで、おじいちゃんの動画を見つけてました。

「また、近いうちに会えるからな。楽しみにしとくわ。」

今すぐ会うことはできないけど、おじいちゃんが近くにいる気がして、心があたたくくなります。だから、ぼくは、お母さんがいやがっても言います。

「お母さん、けいたいかして。」